

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Ultrasonography or palpation for detection of melanoma nodal invasion: a meta-analysis	
	論文の日本語タイトル	黒色腫リンパ節病変の超音波あるいは触診による検出：メタアナリシス	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	MMC Q 2 3－4	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	Ⅰ．システマティック・レビュー／メタアナリシス Ⅱ．1つ以上のランダム化比較試験 Ⅲ．非ランダム化比較試験 Ⅳ．分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） Ⅴ．記述研究（症例報告やケースシリーズ） Ⅵ．患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 （ I ）	
	Pubmed ID	15522655	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Lancet Oncol	
	雑誌 ID		
	巻	5	
	号	11	
	ページ	673-80	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）	
	発行年月	2004、Nov	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Bafounta, M. L.	Hopital Ambroise Pare
	その他著者 1	Beauchet, A.	
	その他著者 2	Chagnon, S.	
	その他著者 3	Saiag, P.	
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		

レビュー研究の 6 項目	目的	リンパ節転移検出における超音波検査の有用性を検証する
	データソース	5つのデータベース
	研究の選択	不明
	データ抽出	不明
	主な結果	2003 年 12 月までの 12 論文中 6642 名の患者における 18610 回の触診と超音波検査を比較した。超音波検査では触診に比べ有意に検出率が高かった。超音波検査の陽性尤度比は 41.9、陰性尤度比は 0.024 であり、触診はそれぞれ 4.55、0.22 であった。
	結論	触診に比べ正確であるので経過観察に超音波検査を行うべきである。
レビューワーコメント	備考	
	レビューワー氏名	八田尚人
レビューワーコメント	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ I ） よく書かれたシステマティックレビュー